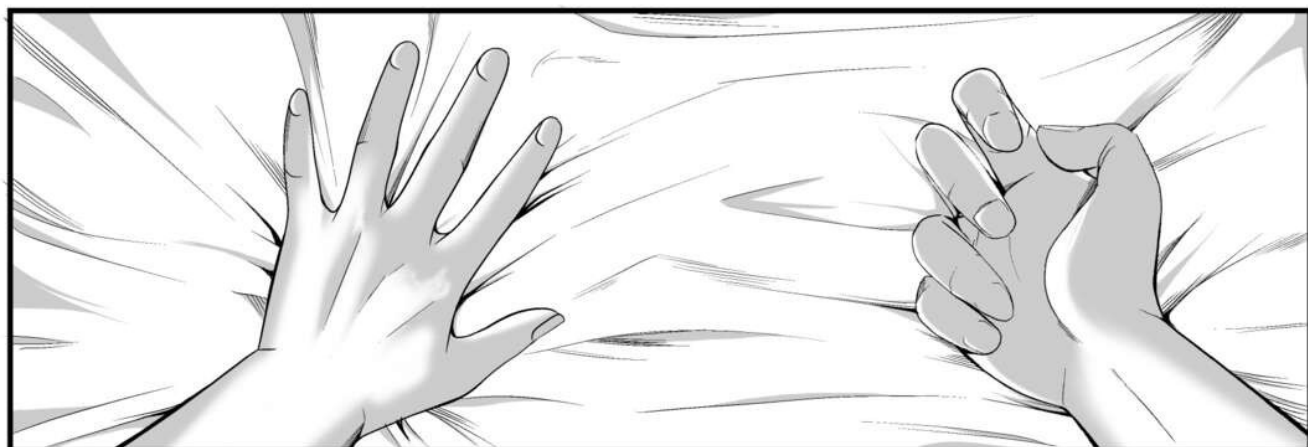


R18
ADULT ONLY




俺の
幼馴染母
友知
さん。

俺の幼馴染は



〇〇を知らない。



「今夜、樹がオナニーを教えてよ…」



準備は
いいか？



始めるぞ



…うん



数時間前の会話が
きっかけだった

俺達2人が
こうなったのは—

ドキ
ドキ



コラ、いっき樹！

お前また授業中に寝ていただけろ！



思春期男子は寝不足なんだよ



?
夜遅くまで何してるの？



ナニってそれは…



おい、とも智…

見逃してくれよ



オナニー





そうか！

智は幼い時に
母親を亡くして

父親の仕事中に
弟達の世話をしたりで

忙しいあまり――



性の知識に
乏しいのか！！



智！

今夜にでもオナニーしてみろ

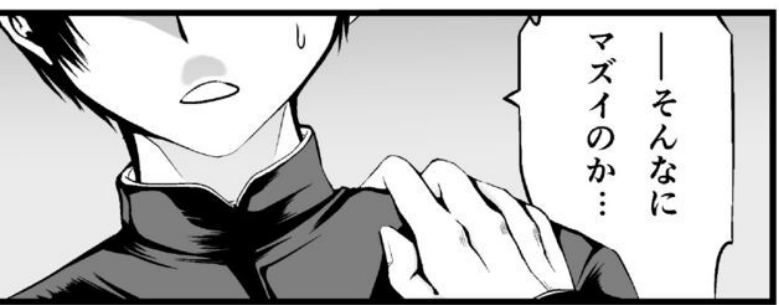
え

…幼馴染として心配だ
来年は高●生だぞ俺達！



いやいや！

だとしても
もう中3だぞ！？



――そんなに
マズイのか…



で、でも僕やり方が
分からないし…

もう夜まで
時間もないし

そ、それなら



今夜、樹が
オナニーを
教えてよ…

キョウ…



えええ!!

その衝撃発言に
戸惑いながら…



うー!

2人きりの
個人授業が
始まった—

う…あつ

ひゃつ…あつ

キュッ!

樹
っ

これ…
変っ!!

キモチ良すぎて…

この家、今夜は
俺しかないから

声がつ

大丈夫

思い切り
声出せよ

昔は一緒に風呂に
入ったりしたけど

すっかり年頃の
ちんこじゃん…

勢いに負けて
オナニーを
教え始めたけど…

あ

あ

アッ

アッ

やあ

すげえ
可愛いな…!!

あ

アッ



待って

何か…

おしっこ
出そう—





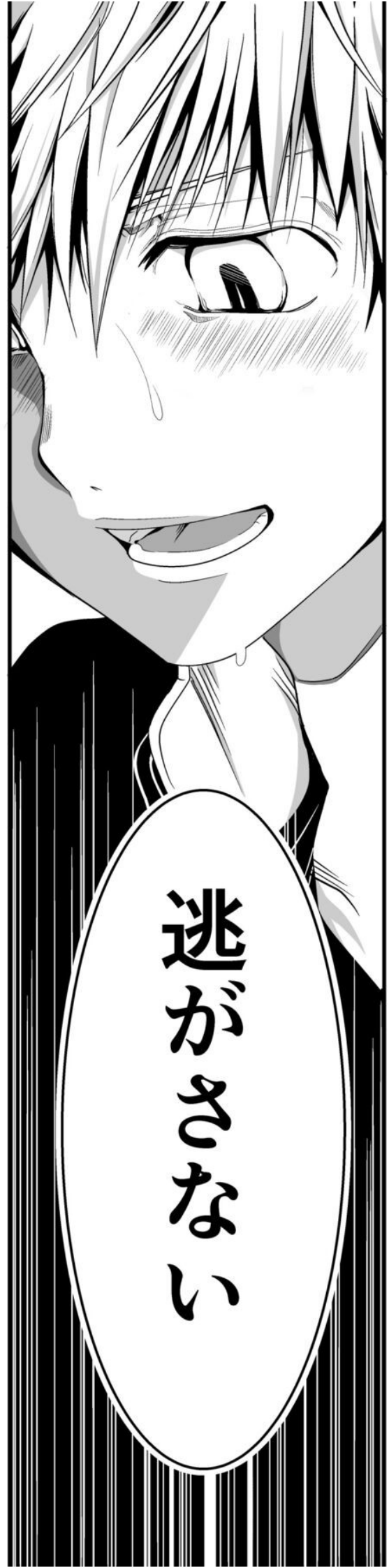
それは



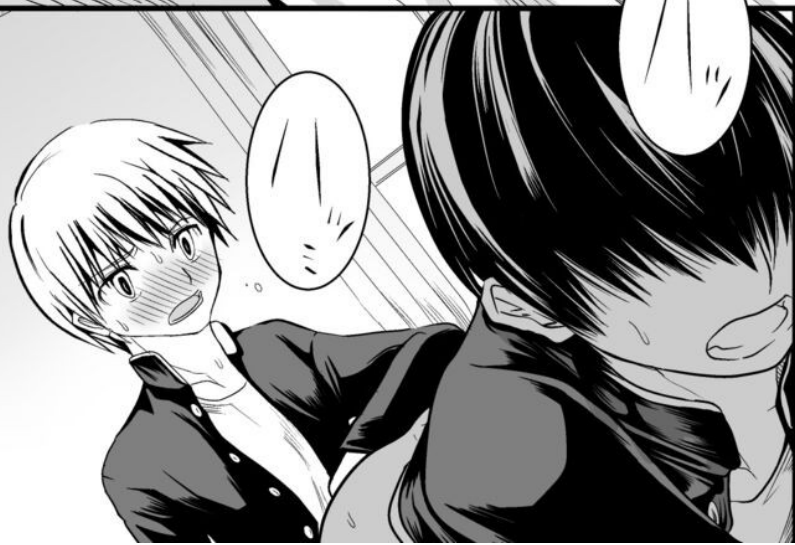
男が出せる
白いおしっこ



出していいんだ

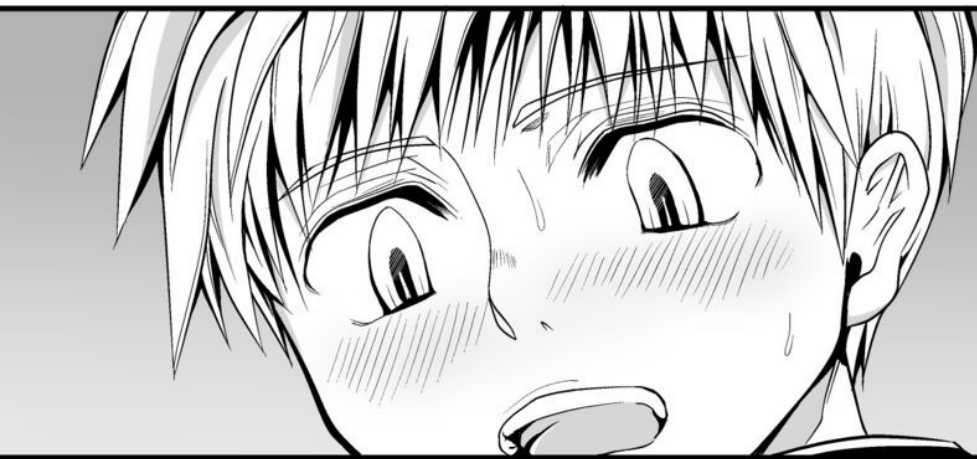


逃がさない





まずい



まずいぞ



…ゴメン

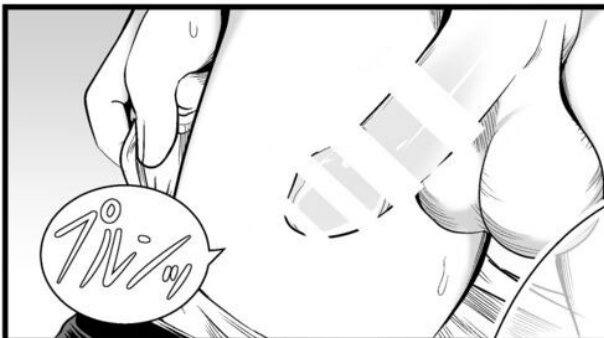
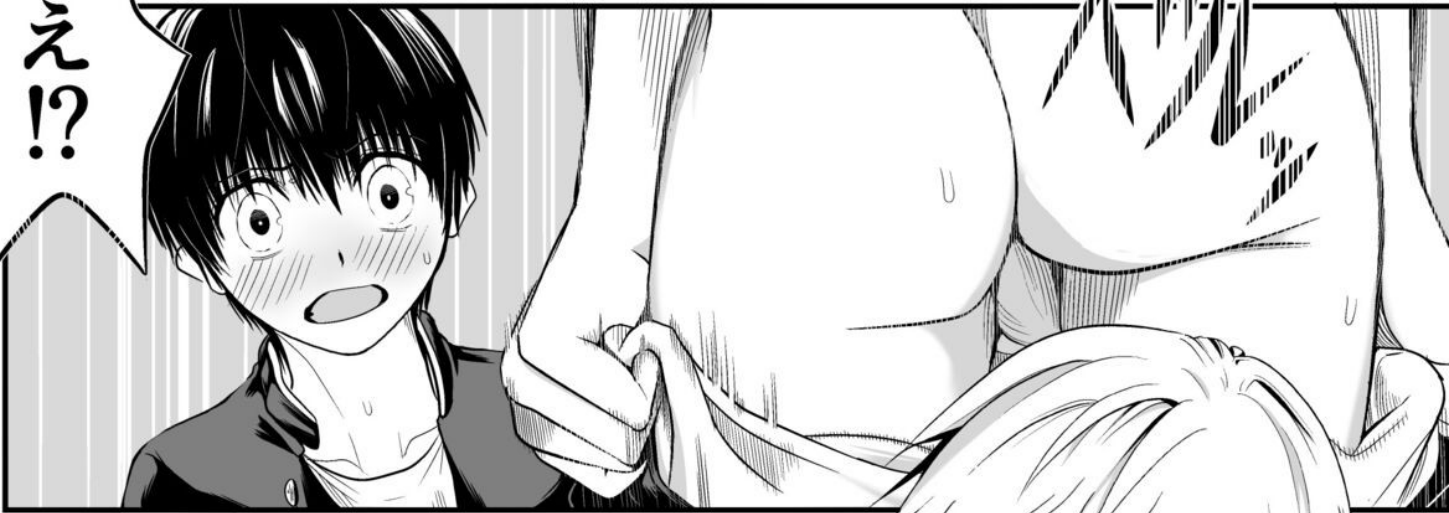
カチカチ

え？

…智



え!?



俺…もう我慢
出来ないや



これ以上は
抑えられない…



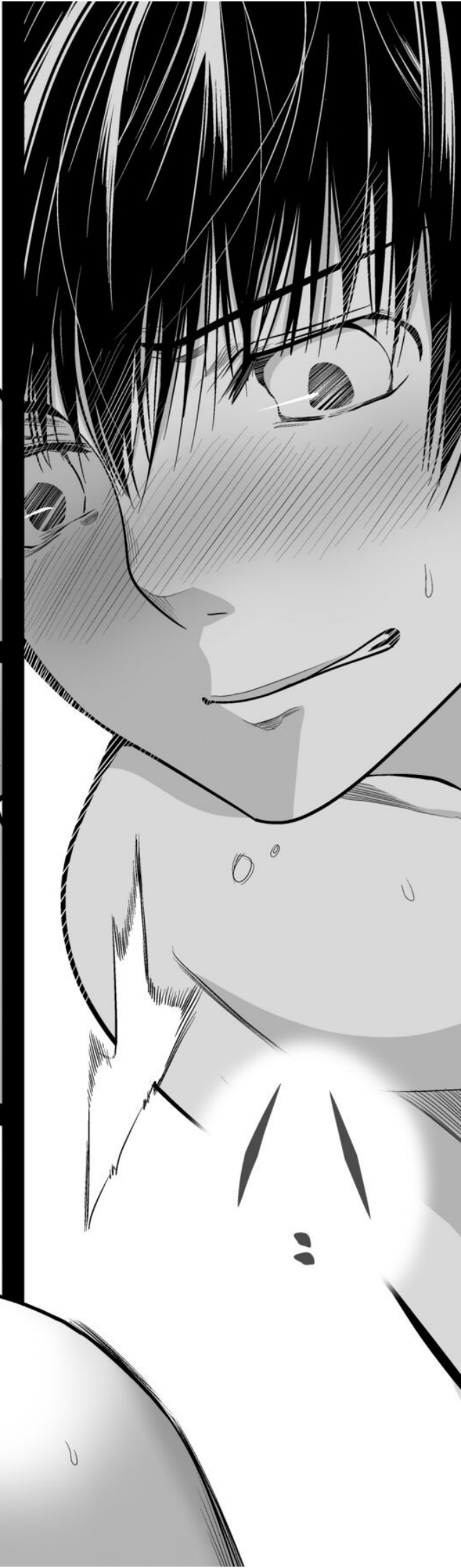
オナニーより
すげえこと
…して良い？



…ふふふ？











智…

智っ

俺…

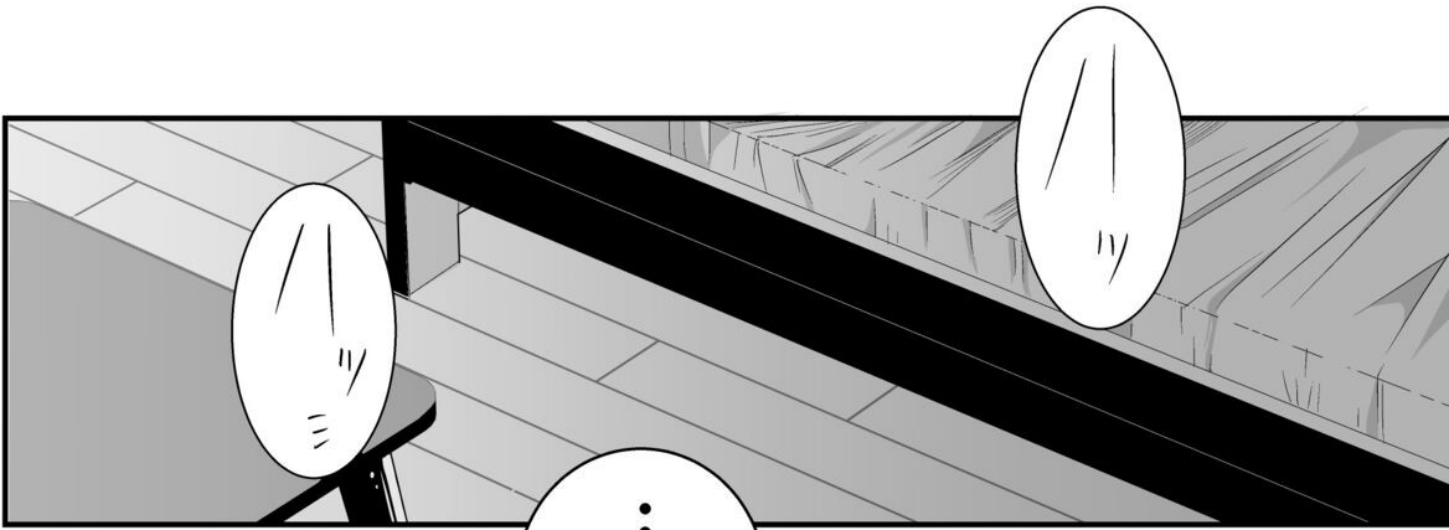


もう…



僕も—
また…!!





|||

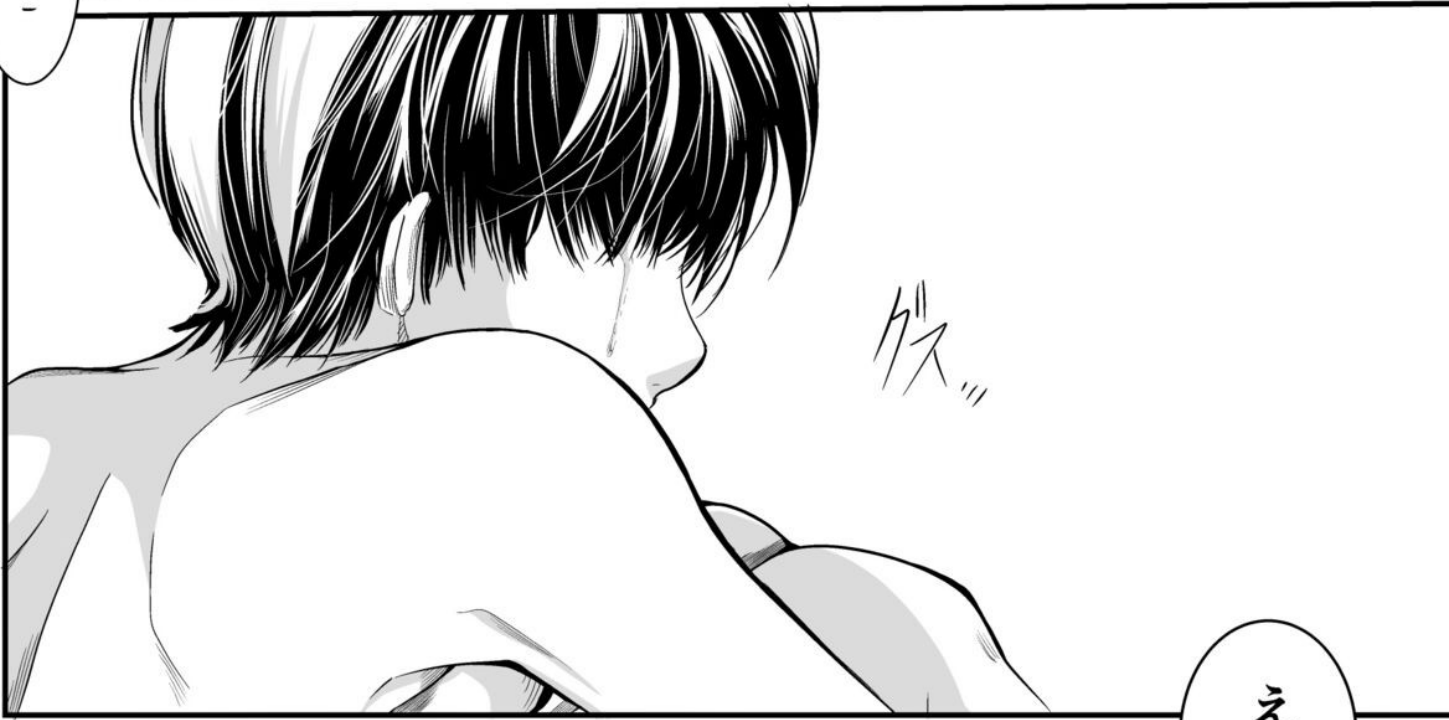
|||



…
智

大丈夫
—か…

|||



クズ



え…

あ…え…?

智…
な、泣いてる
のか…!?

いや、当然か…!!

何も知らない智に
あるところかセックスまで…

俺は大切な
幼馴染を—

———傷付けちゃった…?

…
樹

は、はっ

覚えてる?



僕の母さんが
死んじゃった時

弟達の前で
泣けない僕に
こう言ったんだ

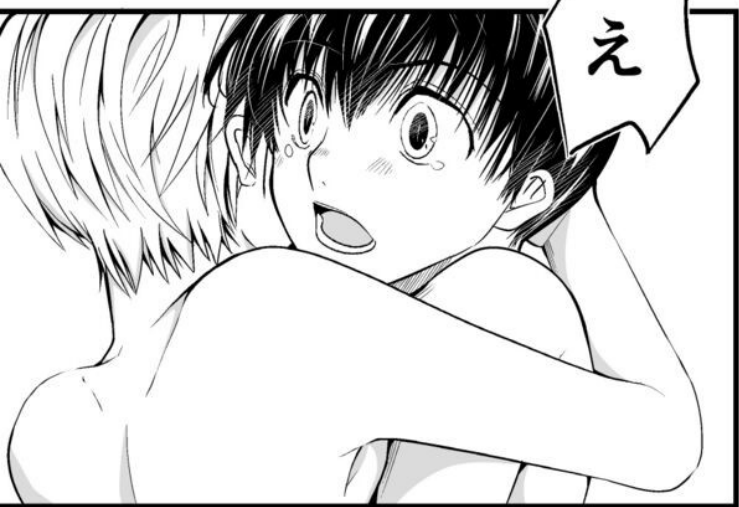
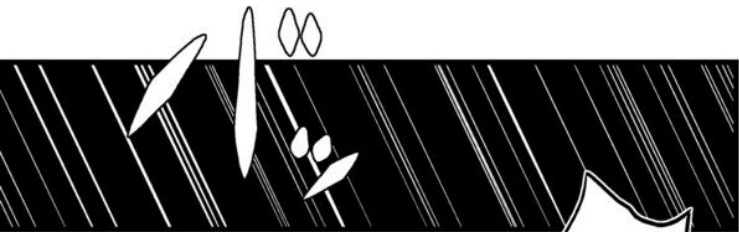
『辛い時と嬉しい時は、泣いて良いんだよ』



僕

今でも辛い時は
我慢しちゃうけど

嬉し涙は我慢の
仕方を知らなくて



樹とひとつに
なれたのが――

嬉しくて……

俺の幼馴染は、色々と
知らないことばかりだ





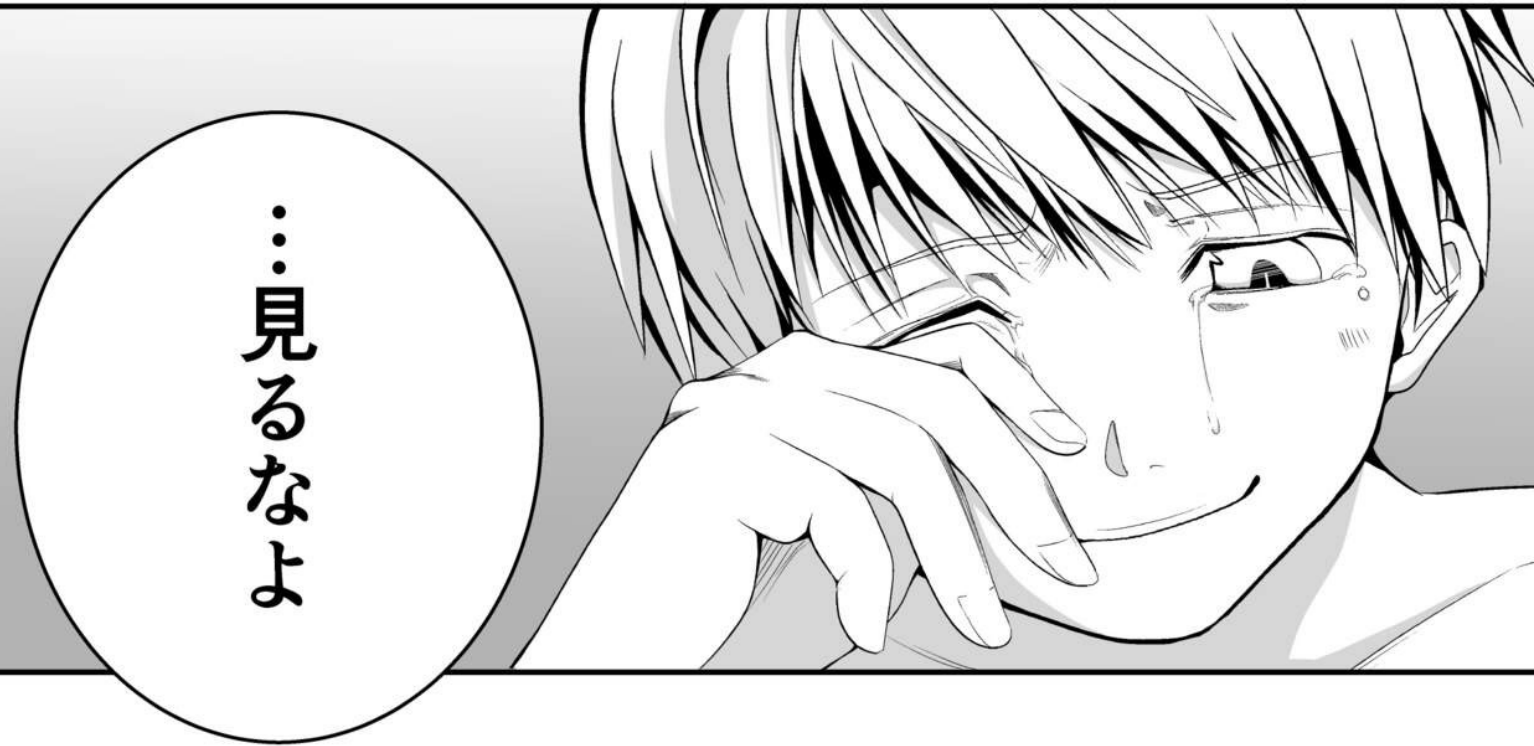
!

でも

俺にも知らなかったことがある



…樹?

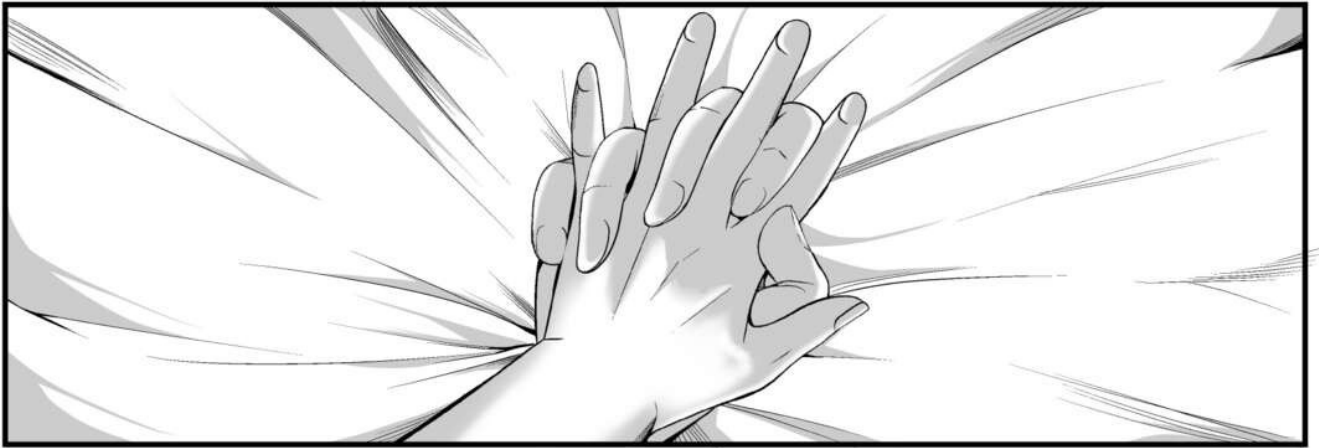


…見るなよ

嬉し涙が我慢出来ない程に

智のことが好きだ



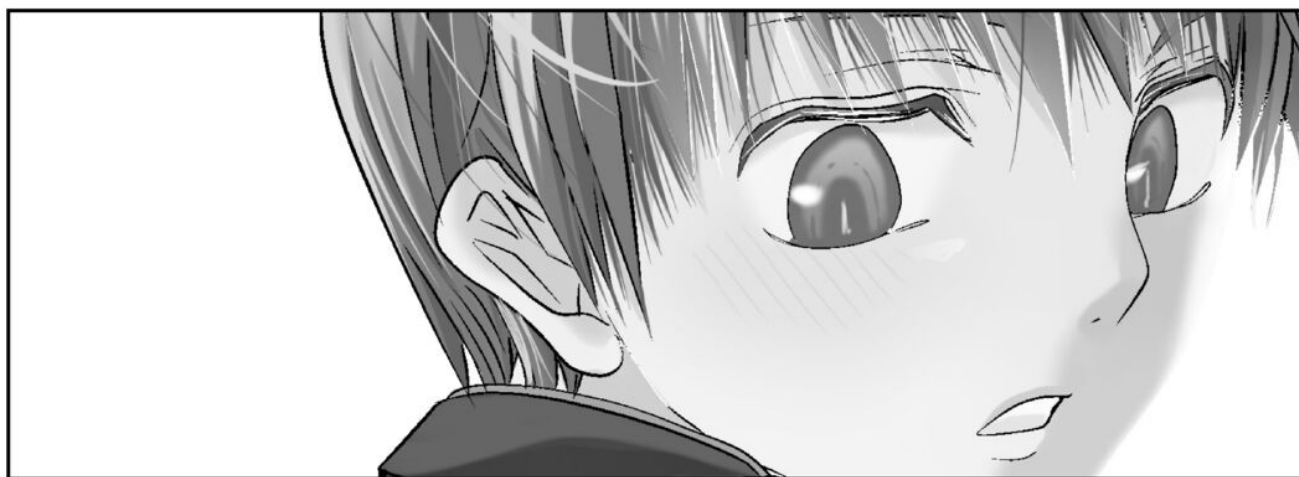


END



七瀬 智希 (ななせ ともき)

学校の成績は優秀であり、クラス委員長を務める。
基本的に面倒見が良く、多くのクラスメイトから慕われている。
性格は優しいが、付き合いの長い樹には少々口うるさい。
幼い頃に母親を亡くしている苦労人。
忙しい父と、幼い双子の弟を支える為に家事全般をこなす。
樹に対しては無意識に親友以上の感情を抱いていた。



本城 樹 (ほんじょう いつき)

本来は器用なタイプだが、結構な面倒臭がり屋。
男子生徒からの人望は厚く、常に輪の中心にいるようなタイプ。
怠け気味の生活態度を、普段から智希に叱られている。
智希の母親が亡くなった時は、側にいて支え続けた。
今回、性について無知な智希の身体と心に触れたことによって、
彼に対する本当の想いに気がついた。

はじめまして、たんぬです。

まずはこの本をご購入頂きありがとうございます。
初めての本作り、初めて描く男同士の絡み・・・苦戦しました。
それでも、ゲイとしての自分の経験談を取り入れたり、
登場キャラクターをどう動かそうか考えながら作品を
作れたのはとても楽しかったです。

実は僕も学生時代は智希と同じく、自慰について無知でした。
自分には樹のような存在はいなかったので、少し羨ましい
ような気もします・・・！

今後も漫画制作を続けたいと考えていますので、何とぞ
よろしく願います。
この作品への感想など頂けると嬉しいです。
それでは、またの機会に。

発行日: 2018年10月13日
著者名: たんぬ
サークル名: TANTAN
連絡先: tantanoekaki30@gmail.com
Twitter: tantan_oekaki30
pixiv: 968252
印刷所: STARBOOKS様

無断転載、複製、複写、転売、インターネット上の掲載を禁じます